

第1回農村RMO推進研究会

2022.9.5

農村RMOで地域が元気になりました!



岩手県花巻市
高松第三行政区ふるさと地域協議会

事務局長 熊谷哲周

高松第三行政区とは？

- 岩手県花巻市の東南部に位置する中山間地域
- 1968年（昭和43）に開田
水田面積100ha（1枚のほ場が7aと小さい）
- 世帯数 66世帯、高齢化率 46%
- 一人暮らし高齢者と高齢者のみの世帯が40%
- 公共交通機関なし、一番近い店まで4km



2007年(平成19)頃、集落の公民館での会話

「人口減少と高齢化が進んでいる。

このままでは限界集落になるのではないか」

「不便だからと他に家を建て出ていく人たちが増えている」

このまま黙って見ていていいのか？ なにか対策はないのか？

現状に危機感を持った6人の有志が何度も話し合い

地域づくりの任意組織を立ち上げようと設立総会を開催

→ところが、参加者は全員反対

「失敗するからやめろ」「失敗したときの責任はだれがとる」

「そもそも地域住民の合意は得ているのか」

6人の発起人が「責任をとるから」と言って説得

2008年(平成20) 協議会設立



なんでもやってみよう!

郷土芸能の伝承、景観形成、耕作放棄地対策、出身者アンケート、研修会・・・

しかし、しょせんは素人

2年目には活動に行き詰まり、アドバイザーに相談

- 「自分たちのあるべき姿（ビジョン）」づくり
- 「住民主体、行政参加」の仕組みづくり
- 活動に暮らしという「横ぐしを刺す」

2011年（平成23）アドバイザーから紹介された

岩手県立大学社会福祉学部の宮城教授の指導により

「農業」・「福祉」・「交流」をテーマにした

『ふるさと交流福祉計画』を策定

農福連携による地域づくりが具体的に動き出す

耕作放棄地対策で始めた貸農園で予想外の出来事が

17区画の利用者の約半分が地元住民

みんな、家に畑があるのに・・・

- 「ひとり寂しく畑で仕事をしていても楽しくない
ここに来ると人がいて会話ができる」
- 地区外の人から「先生、教えて」と聞かれて、びっくり!



活動の中で地域の課題が明確になってきた

➡ 連携9団体（花巻市・社会福祉協議会・大学・施設・JA等）との「協働」

① 農地の保全

地元の農業生産法人と連携した耕作放棄地対策（福祉農園へ）

② 地域資源の活用

協議会が中心となり里山資源の活用（6次産業化）

③ 生活支援

協議会と花巻市、社会福祉協議会や地域包括支援センター等との連携



地域資源の活用

- 里山に自生している『ガマズミ、ナツハゼ』を遊休農地に植栽
→ 木の実をゼリーに加工・販売

- 作業の中心は60～80歳代の高齢者
- 障がい者やこども園の園児も作業に参加
交流・生きがい・お小遣い・・・様々な効果が生まれた
- 交流人口 0人→1,800人へ



にぎわい・笑顔・交流の輪が広がる



生活支援の取り組み

アドバイザーからの助言

- 個人の困ったは、やがて地域の困ったになる
個人の段階で対策をとらないと、地域の困ったになった時には手遅れになる
2015年（平成27）
「母を病院に連れていきたくても仕事が休めない」とSOSが協議会へ
2016（平成28）～2017年（平成29）
農水省の交付金を活用して、外出支援の社会実験実施
2018年（平成30）～ 花巻市介護予防・日常生活支援総合事業により継続
2020年（令和2）～

中山間地域等直接支払制度第5期対策・集落機能強化加算により

- ① 外出支援の対象者拡大
- ② 配食サービス（見守り活動を含む）拡充
- ③ 除雪支援開始



移住者のチカラ・地域のチカラ

協議会の活動を始めてから、10世帯が移住

2世帯がUターン 地区の貴重な人材として活躍中

- 消防団員13人中 7人が移住者
- 集落公民館役員5人中 3人が移住者
- 狩猟免許を取得し鳥獣被害対策指導員
- 神楽の後継者・・・



2021年(令和3)から始まった70haの農地整備事業に期待

ほ場条件の改善（1区画が7aから30～50aへ、
パイプライン、暗渠排水等）により

- 担い手の確保や草刈り作業の機械化へ

- 高収益作物の取り組みが加速化

→ 全住民参加による新たなコミュニティの形成（地域共生社会へ）



これから、農村RMOの仕組みを 高松第三行政区から高松全域へ拡大(案)

行政区名	第一行政区	第二行政区	第三行政区
集落数	2	2	3
農家組合数	1	1	1
中山間集落協定	2	3	3
ほ場整備	検討中	検討中	工事中
外出支援	—	—	○
配食サービス	—	—	○
除雪支援	—	—	○
サロン（介護予防）	○	○	○
消防団	○	○	○
世帯数	52	158	66
高齢化率	42.26%	36.03%	46.38%
一人暮らし世帯数	6	26	21
老人のみの世帯数	7	25	11

(2022. 3.31現在)

これからも「みんなが主役」

— 今まで「地域のありたい姿（ビジョン）」をみんなで考え、
同時に目の前の困った問題をみんなで解決してきた —

農業のチカラ + 福祉のチカラ = 地域のチカラ



※協議会の中山間地域等直接支払制度第5期対策・集落機能強化加算の取り組みを映像で紹介中

「ウィルビー中山間」で検索